

伊豆の国市決算状況

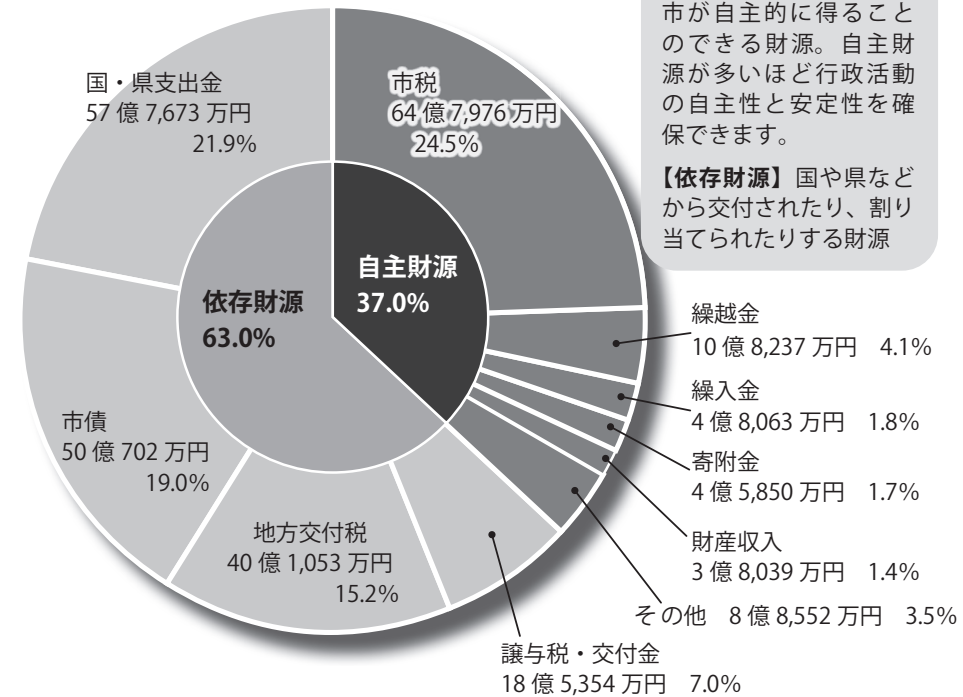
市議会9月定例会で、伊豆の国市の令和3年度決算が承認されました。決算とは、皆さんの税金や国・県からの補助金などが市にどのくらい入り、どのように使われたかという『市の家計簿』のことです。昨年度1年間の、市の家計のやりくりをお知らせします。

財務課
055-948-1414

歳入 264億1,499万円

令和3年度は前年度に比べ、約18億7,494万円の減額となりました。

- ・前年度は、国民一人当たり10万円の特別定額給付金事業(約48億5千万円)があった影響により、「国・県支出金」が41億2千万円強の減
- ・新ごみ処理施設や新し尿処理場の建設により、「市債」が13億1千万円強の増



【自主財源】 市税など、市が自主的に得ることのできる財源。自主財源が多いほど行政活動の自主性と安定性を確保できます。

【依存財源】 国や県などから交付されたり、割り当てられたりする財源

市税の内訳 合計 64億7,976万円

市民税	27億1,462万円	固定資産税	31億9,245万円	軽自動車税	1億5,670万円
入湯税	5,080万円	市たばこ税	3億6,519万円		

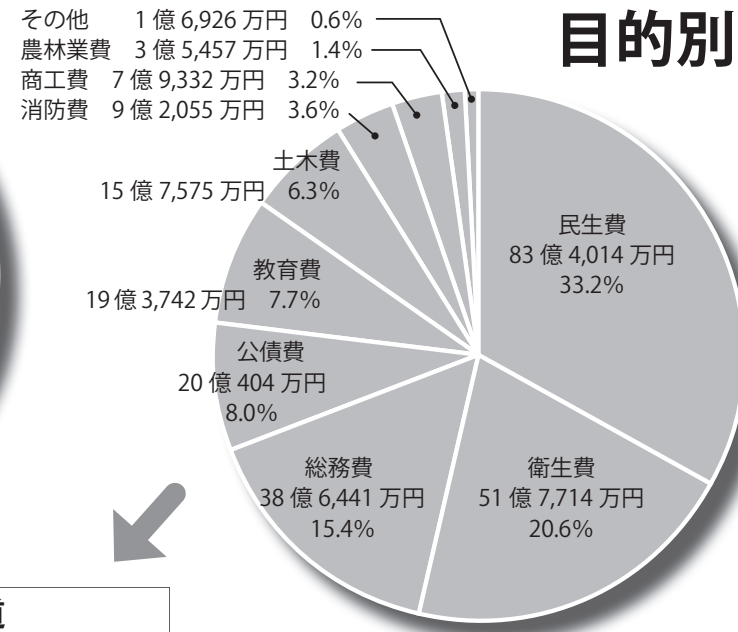
一般会計

地方公共団体の中核となる市政運営な経費を

歳出 251億3,660万円

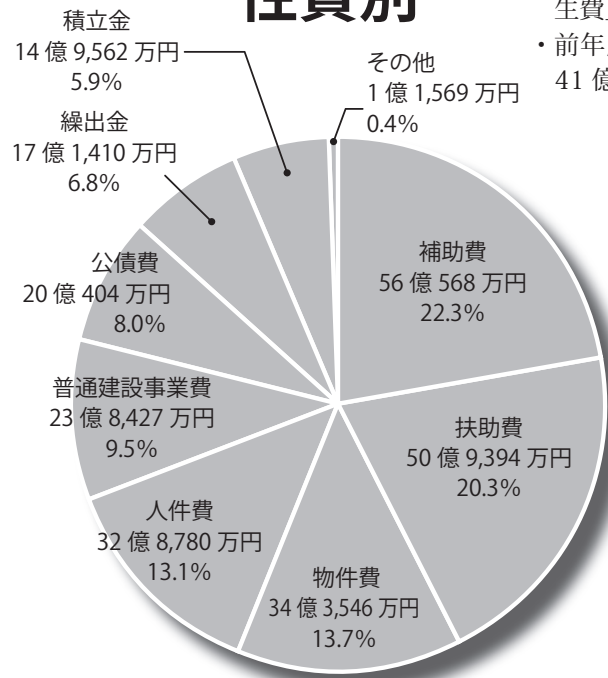
令和3年度は前年度に比べ、約20億7,097万円の減額となりました。

- 歳出を目的別に注目すると
- ・子育て世帯等給付金事業等により「民生費」が10億円強の増
 - ・新型コロナウイルス感染症ワクチン接種の実施等により「衛生費」が20億2千万円強の増
 - ・前年度は特別定額給付金事業などを実施したため「総務費」が41億1千万円強の減



目的別

性質別



目的ごとの主な使い道

※市民一人当たりの換算額 合計 528,702円

民生費 175,419円 子育て支援、高齢者福祉など	衛生費 108,892円 保健衛生、ごみ処理など	総務費 81,281円 戸籍、徴税、地域づくり推進など	公債費 42,151円 借入金の返済など	教育費 40,750円 小中学校、教育施設、スポーツ振興など
土木費 33,143円 道路や公園の整備など	消費費 19,362円 消防、防災など	商工費 16,686円 商工業支援、観光振興など	農林業費 7,458円 農業・林業の支援、振興など	その他 3,560円 議会費、労働費、災害復旧費など

※四捨五入しているため、数値は一致していません。

寄附金の使い道

※目的基金に積み立てた額は、次年度以降、用途に見合った事業の財源とします。

用途の希望	寄附金額	件数	内容
新型コロナウイルス感染症対策	1,910,000円	4件	保育所などの感染症対策の消耗品、備品などの購入
葦山反射炉保全	2,478,046円	1件	葦山反射炉保全基金に積み立て
教育振興	1,072,900円	2件	教育振興基金に積み立て、長岡南小図書館の図書購入
福祉振興	61,500円	1件	福祉対策基金に積み立て
その他	217,000円	1件	むし歯予防対策事業のフッ素洗口などを実施(市内の健康増進のため)



特別会計

特定の事業の歳入歳出を処理するために設置される会計

会計区分	歳入	歳出	市民一人当たり歳出(円)
国民健康保険	57億5,001万円	57億1,134万円	120,128
後期高齢者医療	6億4,190万円	6億4,085万円	13,479
介護保険	45億2,729万円	44億7,200万円	94,060
楠木及び天野揚水場管理	2,398万円	1,514万円	—

公営企業会計

地方公営企業法の適用を受け、利用者からの料金などによって公共の利益を目的に経営する事業会計

会計区分	収入	支出
水道事業 収益的	7億6,589万円	7億2,999万円
水道事業 資本的	1,155万円	3億2,605万円
下水道事業 収益的	14億7,724万円	13億8,712万円
下水道事業 資本的	6億9,377万円	7億9,498万円